

北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

北薩教育事務所便り

平成29年度 第4号 10月30日発行

所在地：薩摩川内市隈之城町228-1

☎：0996-20-8772

FAX：0996-25-3095

大人は子供の環境

私は、現在、薩摩川内市内の官舎から、毎朝車で通勤しています。途中、小学校の子供たちが行き交うある交差点で、決まって目にする光景があります。

それは、子供たちに笑顔で声をかけ、語りかけ、立哨指導をしているある男性の姿です。雨の日でもカップを着て、旗を片手に立哨指導をしながら、楽しそうに子供たちに声を掛けていらっやいます。聞くところによると、その方は長い間、この立哨指導を続けておられるとのこと。このような方がいてくださるから、子供たちは、毎日安心して通学できるのだらうと思います。

鹿児島市の前勤務先でも、車で通勤していました。

その頃、よく目にしたのは、通学中に信号待ちをしている子供たちの横を、「平気な顔をして赤信号を渡って行く大人の姿」でした。歩きだったり自転車だったり、人それぞれでしたが、その姿は「子供たちの目にどう映っているのだらう。」と思うものでした。

私の子供時代（四十年くらい前かな）を思い返すと、いつも大人に見守られ（見張られ？）ていたような記憶があります。当時、横断歩道の無い道路を渡ろうとしたり、青信号の点滅で渡ろうとしたりする子供たちもいましたが、必ず、それを見かけた大人から、

「こら、そこは横断歩道ではないが！」

「赤になるから危ないだろ！」

と、怒鳴られたものです。社会生活という実体験の中で、「これは、悪い行いだ。」と気付かされていたのだと思います。

今は、よかれと思って知らない子供を注意したり、声を掛けたりすると、親からクレームがあったり、不審者と疑われたりするなど、何かと難しい時代になってきました。

けれども、声に出さなくても、行動で示すことはできます。

毎朝、笑顔で立哨指導をしてくださる大人がいる一方で、子供の前でも平気で信号を無視し、道を渡る大人。

子供は、毎日、たくさんの大人を目にしながら生活しています。毎日毎日たくさんの大人の行為・行動を見るという積み重ねが、子供の心に影響を与えているのだと思います。

大人は、子供の環境なのです。

北薩教育事務所
管理課長 三上 修

主体的・対話的で深い学び

〔阿久根市立西目小学校〕

本校は、今年度から「自分の思いや考えをもち、豊かに表現する子供の育成～主体的・対話的な算数科の学習を通して～」をテーマに研究を進めています。

「コの字型」の座席配置による授業（3・4年）



複式学級での「コの字型」座席

3年以上の複式・単式学級では、教室の座席配置をコの字型にして授業を進めています。

授業中の友達の表情等で、友達の学習の様子や進捗状況等を感じ取りながら、意見交換を活発に行うことができます。

コの字型で授業を行うことで、自由な雰囲気教え合うなど学びの幅が広がってきました。表情豊かに反応し合い、共に学ぶ充実感が生まれています。また、「対話」の時間を意図的に設定することによって、子供たちはより自由に、積極的に意見交換を行い、楽しく、効果的な言語活動ができるようになってきました。

友達に教え、考える時間の確保（6年）



友達に教え、考えている様子

子供が主役となる学びの場面では、お互いの考えを出し合い聴き合う「対話」の時間を設定しています。意見を出し合ったり、友達と教え合ったりする中で、思考の練り上げがなされ、自分の考えを深めています。

〈教育事務所から〉

西目小学校では、子供が中心となって、しかも協働して多声的な授業が展開されるよう工夫されています。対話するよさを子供が実感し、教室に学ぶ楽しさが広がっています。

平成29年度 全国学力・学習状況調査結果から（本地区）

小学校(6年)の平均正答率 [%]					
	地区	県	全国	県との差	全国との差
国語A	74	75	75	-1	-1
国語B	53	55	58	-2	-5
算数A	78	79	79	-1	-1
算数B	43	45	46	-2	-3

中学校(3年)の平均正答率 [%]					
	地区	県	全国	県との差	全国との差
国語A	75	75	77	0	-2
国語B	69	70	72	-1	-3
数学A	62	61	65	1	-3
数学B	46	46	48	0	-2

本地区が県・全国平均を上回る主な質問項目(児童・生徒質問紙から) [%]

校種	内容	地区	県	全国
小学校	本を読んだり借りたりするために学校等の図書館へ行く回数が月に1回以上である。	52.9	50.9	38.6
	住んでいる地域の行事に参加している。	80.2	70.4	62.6
	学校のきまりを守っている。	93.3	92.8	92.6
中学校	月～金曜日に、テレビゲーム(携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)をする時間が1時間以下である。	53.4	51.9	40.9
	月～金曜日に、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が1日当たり1時間以下である。(ゲーム除く)	63.2	58.7	49.5
	家で学校の復習をしている。	63.4	60.4	50.5

本地区の学力の概況は、上の表のとおりです。小学校がやや県・全国を下回っていますが、中学校では県平均と同等です。知識の活用を問う問題にまだ課題が残ります。また、本地区の子供たちは基本的な生活習慣が大変よく身に付いており、規範意識が高く、社会参画の関心・意欲も高いです。子供たちのよさを更に伸ばしていきましょう。

【かごしま学校応援団推進事業】

～「地域の力」が学校を元気にします～

学校支援ボランティアの協力があれば、学校の教育活動の幅が広がり、大きな教育効果を生むことが期待されます。

地域には、「子供たちの教育のために役立ちたい」という住民の方々がいます。「こんな人がいたら・・・」と思ったら、学校支援地域本部の地域コーディネーター、または各市町教委に問い合わせてみましょう。



こんな時こそ活用しよう!



〈学校：こんな支援が必要!〉

〈地域：子供のために役立ちたい〉

- ・校外学習の引率補助
- ・家庭科の裁縫の補助
- ・地域素材を使った学習補助
- ・図書室の環境整備
- ・部活動でのアドバイス

- ・登下校の安全パトロール
- ・本の読み聞かせ
- ・戦争体験や地域の歴史談話
- ・少人数学級への授業参加
- ・花植えや野菜作り

地区小・中・義務教育学校長研修会

9月20日に地区校長研修会を開催しました。

県立図書館館長の原口泉先生を講師にお招きし、「明治維新150周年と西郷隆盛」の演題で御講演をいただきました。明治維新において、西郷隆盛や薩摩藩が果たした役割など、日頃なかなか聴けない貴重なお話を拝聴することができました。本地区では今後も、北薩のよき伝統と教育風土を活用して、故郷を学び、故郷に学ぶ「郷育」を推進していきます。



交通事故・違反の防止について

2学期になり、管内において交通事故・交通違反が立て続けに発生しています。交通事故については、油断による前方不注意に起因するものであり、危険を予測し、安全確認を怠らずに運転していれば防げたものです。

また、交通違反についても、急ぐあまりに速度標識や速度計の確認を怠ったことに起因するもので、心や時間に余裕をもち、安全運転に心掛けていれば防げたものです。

2学期は、行事等も多く精神的にも肉体的にも疲労が溜まり、交通事故等が多発する傾向にあります。

交通事故等を防ぐために・・・

- 交通違反は、重大事故に繋がることを意識し、率先して交通ルールを守り、安全運転に努めましょう。
- 車間距離を十分にとり、常に危険予測をしながら適度な緊張感をもって運転しましょう。
- 運転をする時は、余裕をもった時間設定をし、イライラせずによりをもった運転に努めましょう。

授業で実践!! ワンポイントアドバイス⑥

教師の発話を意識する。

教師の発話は、基本的に「発問」「指示」「説明」から成る。「発問」は言葉を吟味し、一度でしっかりと伝える。「指示」は短く明確に。「説明」は要点やキーワードを押さえながら。他に「称賛」「切り返し」等もある。自分は今、何を話しているか意識することが大事である。

編集後記

原口泉先生の痛快で親しみやすい語り口に皆が聴き入っていました。改めて、西郷隆盛の偉大さと薩摩藩の偉業について理解を深めることができました。来年は明治維新150周年を迎え、大河ドラマ「西郷どん」の放送も始まります。郷土のよさを知り、郷土への関心を高めるよい機会と捉え、郷育の充実・発展につなげていきましょう。